

「がんと診断された時からの相談支援事業」シンポジウム

# 沖縄県地域統括相談支援センター の活動について

沖縄県地域統括相談支援センター  
(琉球大学医学部附属病院がんセンター)

増田 昌人

# 沖縄県地域統括相談支援センターの概要

1. 沖縄県が、2011年度「厚生労働省がん医療連携体制推進事業」を利用。都道府県がん診療連携拠点病院（以下、拠点病院）である琉球大学医学部附属病院（以下、琉球大学病院）がんセンターへの委託事業。2012年度以降は、「沖縄県地域統括相談支援センター事業」として継続
2. 予算：868万円（2011年度）、1,100万円（2012年度）、1,200万円（2013年度）、844万円（2014年度・2015年度）
3. 2011年10月琉球大学病院外来棟3階に開設
4. 職員：センター長（兼任）、事務職員1名（40時間非常勤職員）、ピアサポーター（看護師）1名（40時間非常勤職員）の3名で活動開始（～2015年3月）。2015年4月からは、3名のピアサポーターが週1回4時間ずつ相談を行っている

# 沖縄県のがん相談における当センターの役割と業務

- 沖縄県では、拠点病院及び県指定準拠点病院の6病院にがん相談支援センターがあり、相談業務等を行っている
- 当センターは、県拠点病院に設置されたセンターなので、**がん相談支援センターを補完**する活動を行う
- 具体的には、
  - ① **がんピアサポート**
  - ② **がんピアサポーター人材育成**
  - ③ **小児がん経験者への活動支援**
  - ④ **がん患者の就労支援**
  - ⑤ **希少がん，難治がん，小児がん患者への情報提供**

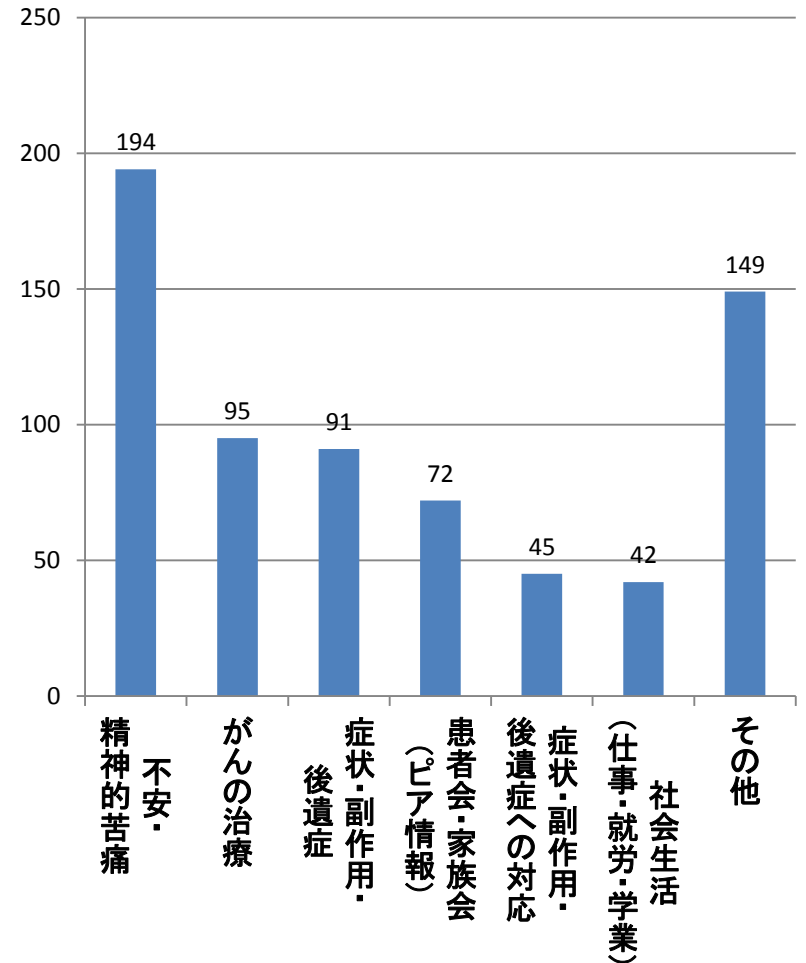
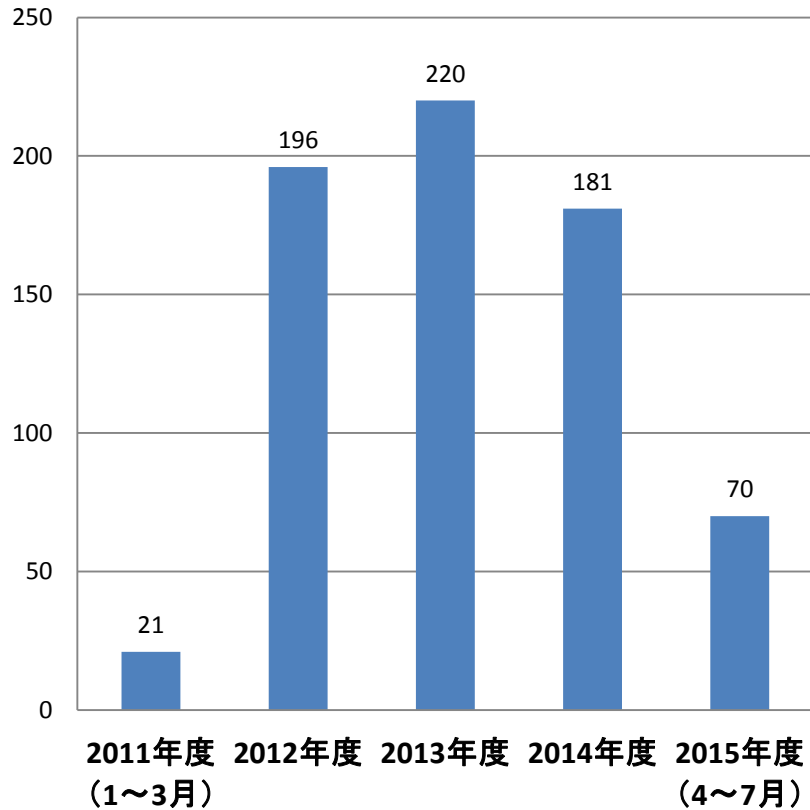


# がんピアサポート



## 相談内容

## 相談件数



# がんピアサポーターの人材養成

## がんピアサポーター養成講座（修了生 合計44名）

2011年11・12月	第1回養成基礎講座	参加11名	修了7名
2012年1・2月	第2回養成基礎講座	11名	9名
2012年10・11月	がんピアサポート初級編(試行版)研修会	29名	14名
2013年10月	がんピアサポート研修会	19名	14名

## がんピアサポート フォローアップ研修会

2012年7月	第1回	参加51名	修了51名
2013年9月	第2回	44名	44名
2015年10月(予定)	第3回		



## 修了生の活躍の場の提供

- 1 琉球大学病院でのピアサロン
- 2 那覇市立病院でのピアサロン
- 3 沖縄県庁ロビーでのピアサロン
- 4 ジュンク堂(大型書店)でのピアサロン



# 小児がん経験者の会「Ti-daわらば一む」

- 2013年5月に、当センターが呼びかけて開始。県内小児がん経験者3名がコアメンバーとして集結し、隔月に交流会をスタートした
- 当事者同士が集い、病気のことや学校・就労、将来についての悩みや課題を語り支え合うことや情報の発信、小児がんに関する様々な問題を考えることを目的
- 奇数月第3日曜日13時～15時に開催し、毎回6～7名が参加
- 当初は、当センタースタッフが運営を行い、徐々に会員に引き継ぐ。軌道に乗ってきたので、今年度は当センタースタッフは見守り役

▼経験者と保護者の交流



▼小児がん患者との交流  
魚釣りゲームコーナーの様子



▼ビーチパーティのときの様子





# がん患者の「就労のためのカフェ」の開催

- 2014年1月に、当センターと国立がん研究センターがん対策情報センターが開催。75名が参加

## ＜プログラム＞

1. がんと就労をテーマに専門家が**講演**
2. ステークホルダーによる沖縄県における**働くがん患者の現状報告**
3. **カフェタイム**  
お茶をしながら、仕事や日常生活のことをみんなで話そう**(グループワーク)**
4. 全体発表

## 討論に参加したステークホルダー

- 1 沖縄県がん患者会連合会 事務局長
- 2 沖縄県福祉保健部医務課 課長
- 3 沖縄県商工労働部雇用政策課 班長
- 4 沖縄労働局職業安定部 部長
- 5 那覇商工会議所 専務理事
- 6 沖縄県商工会連合会 専務理事
- 7 連合沖縄 副事務局長
- 8 琉球大学病院医療福祉支援センターMSW
- 9 琉球大学公衆衛生学 教授・産業医



# センター設置の効果と課題

## <効果>

- がんピアサポートを業務の中心に据えたことにより、拠点病院のがん相談支援センターとの棲み分けができた
- これまで、沖縄県では断片的に一部のがん患者会で行われていたピアサポートを、拠点病院の中ではあるが、恒常的に実践する場を作ることができた

## <課題>

- がんピアサポートが、拠点病院の医療職の中にさえも市民権を得ていない
- 就労支援や希少・難治・小児がんの情報提供等も、沖縄県内のがん患者関係者だけでなく、医療者への周知が不十分である